



# 帰国生の学校選び A to Z

●第23回●

急な帰国でもあわてないように、編入学先は早めに探したい

日本の学校では間もなく新年度です。今年も多数の帰国生が全国の中学や高校に入学します。海外とは異なった環境で戸惑うことも多いと思いますが、がんばってほしいですね。ただし、帰国生の場合は編入学する生徒も決して少なくはありません。4月でも中2以上、高2以上で入学する場合は編入学となり、中高一貫校の場合は高1での入学も編入学です。もちろん4月以降に入る場合にはすべての学年において編入学です。

ただし、編入学は受け入れ枠が小さく、選考も厳しいというのが現状です。まず、編入学を定期的に募集している学校はごく少数です。欠員が生じた場合にしか行わないという学校も目立ちます。また、編入学情報をまとめた情報誌やウェブサイトも見当たりません。では、編入学先はどのように見つければよいのでしょうか。

まず、志望校を多めに選択し個々に編入学の有無を確認します。志望校を多数ピックアップしても編入可能な学校は少ないこともあるでしょう。編入可能な学校には募集人員や選考方法（入試科目や入試日など）、出願条件などをお聞きします。入試については科目だけではなく、出題範囲も確認するとよいでしょう。特に中高一貫校や進学校の場合は、履修内容が当該学年よりも先に進んでいることもあるからです。

また、編入学先を探すのは、帰国時期が決まったぎりぎりの時期ではなく、できるだけ早めがよいでしょう。編入学可能な学校を見つけて出すには時間がかかります。編入学先の候補が見つければ、その学校に的を絞った受験対策もできますし、一時帰国の際に学校訪問をして、学校の雰囲気を見たり、先生方に相談することもできるからです。

急な帰国の際にもあわてないように早めに対策を立てることが大切です。

執筆者：丹羽 筆人（文京学院大学女子中学校 高等学校 北米事務所 アドバイザー / 名古屋国際中学校・高等学校 アドミッションオフィサー 北米地域担当）

河合塾での指導経験を経て米国では CA・NY・NJ 州の補習校・学習塾にて指導。現在はデトロイトりんご会補習授業校講師。代表を務める「米日教育交流協議会」では、日本語・日本文化体験学習「サマーキャンプ in ぎふ」を実施。他に、河合塾北米事務所アドバイザー。お問い合わせ先：E-mail [bunkyo@ujec.org](mailto:bunkyo@ujec.org) Phone & Fax 855-926-1140 (文京学院) E-mail [nihs@ujec.org](mailto:nihs@ujec.org) Phone & Fax 855-669-9300 (名古屋国際)

